

会 員 メッセージ

新しいコーナーです

「 相手を思いやる いたわりの心を持って 」

L . 水谷 貴子



こんにちは、今年の夏はとても暑かったですね。

今年のお盆は、避暑地と言われる「ひるがの高原」へ1泊2日で乗馬やテニスを楽しみました。現実から離れ、携帯着信のチェックは夜、朝のみとし電源も切り、誰にも束縛されず、過ごしたいと思っていました。あらためて携帯の着信履歴の数には驚かされた。

お盆休みで時間がとれた方からの問い合わせや県外からの学生さんの親が子供達のところへ車で来ていて、一晩、車を止める場所がないとか、大した用事も無いのに連絡を入れてくる。なぜ休日前に連絡をする配慮が無いのだろうか・・・間違いなく10年前、5年前から比べるとここ最近の大人としての品格が低下している。時間も考えずにコンビニ感覚で、電話に出て当然、何かしてもらって当たり前、という感覚には呆れる。

先日 ある学校での出来事、放課後、女子生徒による飛び降りがあり幸いにも怪我で済んだ。原因は、部活でのトラブルらしいが、その生徒が飛び降りた心境を考えると胸が痛い。その原因を作った生徒達はどんな心境だろう。学びはあったのだろうか。また飛び降り後、笑って見えていたという生徒もいたそうだ。

自分の思いどおりにならないからと「自分さえ良ければいい、いじめる、傷つける」ホント情けないものだ。そして、私たち大人社会でも同じですよ。益々、利益追求型の社会現象が進化していくと思うとゾッとする。

ちょっとした気遣い、優しさ、今の日本人に欠けていると思いませんか？

「 夏の日の悪夢 」

L . 船山 護



「世の中は 何が常なる飛鳥川 昨日の淵ぞ 今日には瀬となる」 悲しいかな我が身も然り。お盆休みのさ中、朝まで元気であった体が、その日の夕方に激しい腹痛を覚えて緊急入院。診断結果は胆石による痛みでは？とか。胆石を放置すれば、今後同様の痛みに襲われる恐れも・・・と脅かされて急遽手術を受けるはめに。

退院3週間後の今(9月末日)では、真夏の悪夢も忘却の彼方とあいなりつつありますが、はてさてこの先残り少ない我が人生、どんな苦痛・苦悩が待ち受けていることやら。どうかお手柔らかに願いたいものです。

「 温暖化 釣り 」

L . 原 信幸



地球の気温を一定に保つ働きをしている温室効果ガス(CO₂)の適正バランスが崩れ、気温の上昇により、地球上の自然や生物に様々な影響を及ぼし、釣りが趣味の私にも多少なりとも影響を及ぼされました。

今年の夏も富山湾の水温上昇により、八月にはみられない魚類などがみられたり、七月には太刀魚等のシーズンですが、例年よりも遅く又、いつものポイントではなく水温の低い黒部川付近で釣れる事がありました。趣味での釣りですが、毎年の釣果も減少気味です。

確実に進んでいる地球温暖化、温室効果ガス排出を防止する為に、私自身もっと、エネルギー消費を抑え、二酸化炭素(CO₂)排出削減に心がけたいと思います。